

**CONTENTS**

- ◆後援会会長あいさつ 1
- ◆教育学部長あいさつ 2
トピックス<1>
- ◆島大ビビットひろば 3
- ◆学生フォーラム
- ◆教師力パワーアップセミナー 4
- ◆面接道場 5
トピックス<2>
- ◆卒業生の声 6~7
- ◆後援会活動の概要 8
- 後援会幹事名簿

**実践力のある教師の養成を目指し**

後援会会長 曽田 悟

春分の候、教育学部後援会会員の皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当後援会の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

まずは、3月11日に発生した東北・関東大震災では過去最大級の被害状況となり、教育学部後援会としましても、被災地の復旧・復興に向けた手助けになればと考え、義援金を送らせていただきましたことをご報告します。

さて、日本経済は一昨年から徐々に持ち直しの兆しが見られましたが、昨年後半からは慢性化する国内経済のデフレ進行と海外経済の景気減速、円高等による高水準の失業率が依然と続き、先行きの不透明感も増大する厳しい状況が続き、これに先の大震災が追い打ちをかける状況となっております。

しかし、一方ではこれから化学を勉強していきたいと考えている学生や、世界中の天文ファンに夢を与える出来事もありました。根岸栄一博士、鈴木章博士による昨年末の2010年ノーベル化学賞受賞及び小惑星探査機はやぶさの帰還です。根岸氏、鈴木氏の両名はクロスカッピングの開発により受賞されましたが、特筆することは、二人とも特許を取得せず、我々の成果を誰でも気軽に使えるようにと普及を意図された事です。また、はやぶさは、アポロ群の小惑星イトカワに到着しその表面を詳しく観測して7年ぶりに往復60億kmの距離を奇跡的に帰還しました。今後は、採集された岩石質微粒子の解析が注目されています。

こうした中、島根大学では永年教育学部の教育改革及び全国に誇れる学部（全国初・全国唯一）になるようご尽力頂きました高岡信也学部長が退任され、昨年4月より伊藤豊彦学部長が就任されました。伊藤学部長は、教員養成を担う学部として、優れた教育実践力を備えた教師を養成し全国に輩出する学部を目指して教員養成教育に全力を擧げる、と力強く抱負を述べられました。当後援会も更なる教育学部の発展を願い活動していく所存でございます。

さて、本後援会は島根大学教育学部の発展充実に寄与し、在学生の教育に関し、学部に協力することを目的としています。昨年は、学生の学習環境の充実を図るために、皆様方のご協力のもと「ICTルーム（通称【金魚鉢】）」が開設されましたが、利用状況も良好でサロン風の明るいガラス張りのルームが学生に好評です。また、開所式はマスクにも取り上げて頂きました。

後援会活動は大きく分けて8つの支援がありますが、会員の皆様方の会費により運営されています。後援会費の納入については、従来は入学時一括払いでしたが、新たに分割払いとの選択制とさせて頂きました。

学校や地域とともに歩む教育学部は、実践力のある教師の養成を目指していますので、優秀な教員を育てていくことが出来る環境作りのために、教職員の皆様方及び後援会会員の皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



確かな教師力の育成を目指す 島根大学教育学部

教育学部長 伊藤 豊彦

島根大学教育学部後援会員の皆様におかれましては、
ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素から、本学部の教育活動や就職支援活動に
多大のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、家庭や地域の教育力の低下が呼ばれる一方で、
学力の向上や暴力・いじめ等への対応、特別な支援を必
要とする児童生徒への対応など、教員に課せられる課題
が急増する中、教員として優れた資質能力を持った教員
の養成にますます大きな期待が寄せられるようになってい
ます。

このような社会的要請を受け、昨年6月、文部科学大臣
から中央教育審議会に対して「教職生活の全体を通じた
教員の資質能力の総合的な向上方策について」が諮問
され、現在、前学部長である高岡信也教授も委員を務めら
れる「教員の資質向上特別部会」で精力的に審議が進め
られています。昨年12月に公表された特別部会の審議経
過報告には、「教員養成の修士レベル化」や「新しい教員
免許制度の創設」、「教育委員会と大学との連携・協働」
などと並んで、大学における教員養成のあり方に対しても、
教員としての高度な専門性と社会性、実践的な指導力を
身につけられるよう、改めて点検し見直す必要のあること
が指摘されているところです。

これまで、島根大学教育学部は、「1000時間体験学修」
を皮切りに「プロファイルシート」、「面接道場」、「学内資格
認定制度」といった特徴ある教育プログラムを充実させ、
教職員一丸となって教員養成教育の改善に取り組んでき

ました。学校や地域社会からの支援を得て、また何よりも学
生諸君の真摯な取り組みにより、「確かな教師力」の育成
に一定の成果が上がりつつあることを実感できるようになっ
ています。教員の正規採用者数が40名を超えるまでに回
復してきたこともその成果の表れの1つであると思っていま
す。

島根大学教育学部が提供する多様な教育プログラムは、
全国的にも注目される優れた取組みであると自負していま
すが、いかに優れたプログラムであっても、その成果を発揮
するためには、まず、教員を目指す学生諸君が意欲的に取
り組んでくれることが前提です。私ども教職員もこれまで取
り組んできた教員養成の改革を踏まえ、これらをさらに深化
させるべく努力を続ける所存でございますので、後援会に
おかれましても今後とも変わらぬご支援とご協力を賜ります
ようお願い申し上げる次第です。

最後になりましたが、平成23年度入学生の保護者の皆様、
島根大学教育学部後援会によこそおいでいただきました。
今後10年間で全国の教員の34%、20万人弱の教員が退
職し、全国的に若い力が必要とされる中、教師を志す皆様
のお子様方を心から歓迎いたします。これから始まる4年
間の教師を目指す取組みの中では、大なり小なり何らかの
トラブルに見舞われるかもしれません。指導教員や教務・学生
支援委員会の教員を中心に、教職員一同、支援を惜しみませ
んが、トラブルから逃げることなく、それを自分が成長
するチャンスと捉え、自律的に問題を解決できる力をつける
よう、保護者の皆様におかれましてもお子様の成長を暖かく、
そして厳しく見守っていただきたいと存じます。

Topics

1

教育学部と(財)島根県文化振興財団が 連携協定を締結しました

島根大学教育学部と(財)島根県文化振興財団は、地域における文化・教
育の発展に大きく寄与することを目的に、連携協力協定を締結しました。

2月16日（水）に島根大学教育学部において調印式を行い、財団から藤岡
大拙理事長、教育学部から伊藤豊彦学部長が出席し、協定書にサインしま
した。

この度の協定締結により、教育学部では教員養成にかかる体験活動に
おいて幅広い分野での連携が可能となり、財団においては大学の教育・研究
成果を諸事業に生かすことが可能となるものです。また、協定の締結を機に、
連携推進会議を設置し、恒常的な情報共有と地域の文化・教育課題
に対し多角的な意見交換を行い、より効果的な連携活動を目指します。



島大ビビットひろば

「島大ビビットひろば」は、教育学部の教育体験活動「1000時間体験学修」の一環として、平成17年度から開催しています。事業の企画から学生が参画していることを特色としており、毎回各専攻から企画を出してもらい、それぞれの専門性を生かした活動を子どもたちに提供しています。

本事業を通じて、子どもたちに安心で安全な活動を提供するだけでなく、学生が自ら組織し、企画・実践・評価（振り返り）の一連の教育活動を体験し、実践力を高めることを目的としています。

今年度は、6月26日、7月17日、10月30日、11月20日、12月18日（いずれも土曜日、9時半～12時）に開催し、述べ439名の児童の参加がありました。



6月26日（66名）

「ものづくり体験」教育支援センター
「英語であそぼう」言語文化教育（英語）
「ビビット」健康スポーツ教育
「おやつ教室」人間生活環境教育

7月17日（121名）

「チーム対抗！ ビビット選手権!!」教育支援センター
「英語であそぼう」言語文化教育（英語）
「ビビット」健康スポーツ教育

10月30日（74名）

「ビビット 秋の大運動会」教育支援センター
「あつまれ!えいご好キッズ」言語文化教育（英語）
「ビビット」健康スポーツ教育
「わくわくイモ掘りやきイモ体験教室」
人間生活環境教育（技術）

11月20日（87名）

「島大たんけんたい」教育支援センター
「ビビット」健康スポーツ教育
「ビビットおやつ教室」
人間生活環境教育（家政）



12月18日（91名）

「クリスマス工房」教育支援センター
「ビビット」健康スポーツ教育
「あつまれ!えいご好キッズ」言語文化教育（英語）
「わくわく木工教室」人間生活環境教育（木工）
「寺子屋おたのしみ科学塾2010」環境寺子屋



学生フォーラム

平成23年2月17日(木)に「平成22年度島根大学教育学部学生フォーラム」を開催しました。

1000時間体験学修の取り組みについて教育体験活動評価委員、サポート・マイスターの方々から評価を受けるとともに、参加学生に体験学修の価値を再認識させたり、学生のプレゼンテーション力を高めたりすることを目的としました。

基礎体験領域、学校教育体験領域、臨床・カウンセリング体験領域からの体験発表のほかに、人間生活環境教育講座と特別支援教育専攻から専攻別体験についての体験発表も行い、18名の方々から評価を受けました。

講評の中には「体験学修は、単なる体験ではなく、どんな思いや気づきをどのように実感しているか知ることができた」「体験学修が社会人として豊かな人づくりにつながっていると感じることができた」といったような評価をいただきました。

このフォーラムには教育学部の1、2年生を中心として、約350名の参加がありました。体験発表を聞いた学生からは、「これから体験する学校教育実習について知ることができて参考になった」「同じ活動に参加していても、自分とは違った目線や、より高い目標をもって参加していたことを知り刺激を受けた」といった感想がありました。



教師力パワーアップセミナー

教育学部では、平成19年度に採択された「特色ある大学教育プログラム（特色GP）」を契機に、この「教師力パワーアップセミナー」を実施するようになりました。プロファイルシートに代表されるような10の「教師力」を柱に学部教育を推進しておりますが、学生の教員採用試験に合格する力を単なる試験勉強ではなく、他者とのかかわりから自分自身を見つめ直すという観点から伸長させていくことを目的としています。

さて、今回ご紹介する2010年7月7日に開催した「教師力パワーアップセミナー」は、まさに島根県の教員採用試験第一次試験が実施される「くにびきメッセ」を会場に、教育学部同窓会の協力を得て、「模擬面接」を実施しました。島根県で長く教職に就かれていたベテランの元教諭・校長の方々に本番と同じ会場、同じ方式で面接をしていただき、その後面接の内容について面接官から直接時間をかけてアドバイスを頂くというこのセミナーは学生にとても好評でした。またそのおかげで、今年度の島根県教員採用試験において例年を上回る現役合格者を出すことができました。

その後、11月21、22日には、まとめとなる「教師力パワーアップセミナー 未来へ向けて」をサンレイクにおいて一泊二日の宿泊研修として開催しました。この「未来へ向けて」は教員採用試験に現役合格した学生、あるいは残念ながら今年は不合格であったが、近年中に必ず合格したいという意欲を持つ学生を集め、来年から教諭・講師として教育現場で直面するであろう課題を体験してもらいました。新学期「学級開き」の模擬授業、広瀬中学校の佐々田校長による講演「新任教員に望むもの」、模擬職員会議での企画プレゼンテーション（パワーポイントを使用して）、先輩中堅教員との交流会といったメニューは、採用試験前のセミナーと異なり、ゆっくりとした日程、そして雰囲気の中で実施されました。参加した学生の多くが、笑顔で研修を受講し、「とても有意義なセミナーだった」という感想をもらいました。



「教師力パワーアップセミナー」は3月に始まり、既に記事となっているように11月で終わりとなります。今年で3クール目になります。3月9、10日には一泊二日の宿泊研修をサンレイクにおいて開催し、教員採用試験で現役合格を目指す新3、4年生が参加しました。参加者は毎年増え、今回は100名以上の参加者となりました。セミナーの内容として、二種類のものを準備しています。一つ目は自分自身のこれまでの大学での学びを振り返ることからはじめ、自己分析や、自己アピール文を実際に書く、模擬集団面接を受けるといったもので、自己内省とそれをもとにしたパフォーマンスの経験です。これまでの学びをもとに自分の現時点での実力を実感してもらいます。二つ目として今年採用試験に現役合格した先輩達との交流会、既に現場で教壇に立っている若手教員との交流会が準備されています。先輩からのアドバイスをもとに、これから教員採用試験までのおよそ半年を有意義なものにしてもらうためのものです。初体験のことばかりで、精神的にも大変なセミナーではありますが、このセミナー参加者の中から毎年現役合格を多数輩出しているという結果が出ています。このセミナーはこの一泊二日の研修をスタートに、4月から模擬集団面接、模擬集団討論といったメニューを隔週で開催していきます。こうした苦労を乗り越えて、一人前の教師になってくれることを期待しています。



面接道場

教育学部では、実習セメスターを目前に控えた3回生全員を対象に、毎年「面接道場」を実施しています。これは、①外部の目を通して教育学部学生に対する期待や要望を学ぶこと、②社会人としての基本的な資質を身につけ、教師力の一層の向上を目指すこと、という2つの目的を持っています。

教育学部の外部評価委員である「学部活動評価委員」の方々が面接委員となり、学生によるセルフ（個別）プレゼンテーションと集団討論の指導をしていただくという内容で、全国的にも注目されている画期的な事業です。評価委員の方々は、教育行政・学校教育・社会教育・企業（報道）・芸術文化NPOという各方面のスペシャリスト22名から成り、謂わば「働くことのプロ」ですから、学生に対する一言一句にズシリとした重みがあります。これから長期間の教育実習に立ち向かう学生は、教科指導や授業技術の向上で頭が一杯でしょう。しかしこの時期、まずは1人の社会人としての成長を強く促したい。そういう願いは私たち学部教員だけでなく、文科省や地域社会からも湧き起こっています。面接の技術向上を目指すのではなく、自分を磨く場であってほしい。その願いが「面接道場」という名称に込められているのです。

今年度は7月29日、30日に島根県民会館を会場に実施しました。学生は緊張した面持ちで各会場に入って行きましたが、終了後には、安堵感と晴れ晴れとした達成感の表情が、柔らかく全員の身体を包んでいました。

また、終了後に行なわれた「懇談会」では、学生に関することだけに留まらず、学部教員全般にわたって評価委員から多くの助言をいただきました。



Topics 2

ブログシステムを本格始動

教育学部では、今年度より学部情報ブログシステムを本格的に開始しました。ブログとはインターネット上の掲示板のようなもので、一般には個人的な日記やニュースなどを掲載するサイトのことを言います。学部ではこれまで実際の掲示板に「お知らせ・通知」といった紙媒体の形で、学部からの学生に向けて情報を伝えていましたが、より積極的に発信するツールとして、このブログというツールを利用し、その運用を開始しました。学部から学生に伝えたい、また伝えなければならない内容をブログに掲載すると、学生の携帯電話にブログ更新の通知が届きます。それを見て学内のパソコンからブログサイトにアクセスする方法をとっています。

FD戦略センターからプロファイルシートへの入力期間のお知らせや、支援センターから「だんだん塾」の開催日程の通知、そして教員採用試験に関する情報、就職に関する情報等が主に掲載されています。特に4年生向けの教員採用試験対策情報は、直接で質問されやすい問題のリストや、文部科学省や県の教育委員会から発表された情報をより多くの学生に、迅速に伝えるために役立っています。

今後は全ての学生がほぼ毎日ブログをチェックすることによって有益な情報を逃さないようにになってくれることを祈っています。

またブログシステムには学生に対するアンケートを実施できるページや、教師力育成総合支援システム（プロファイルシート）へアクセスするためのエントリーボタンも準備されています。

教育学部ではこうしたICTを活かして、学生への教育をより推進していきます。

島根大学教育学部 学部情報ブログシステム

[Home](#) [Archives](#) [RSS](#) [アンケート](#) [設定](#) [教師力育成総合支援システム](#)

Home

第1回 教師力パワーアップセミナーのオリエンテーション日程

Posted by 岩崎達也 2011年7月21日 12:30 FD戦略センターから「教員採用をうけるべき姿へ」(教育委員会から) 働き方の実践セミナー～アマゾンヨーには現在100名の参加者が予定されています。登録者にもあさように、事前オリエンテーションを以下の通り実施します。おつきあいください。会場は、島根FC総合センターで資料を受け取ってください。
日時: 2011年7月15日 12:00-12:45
場所: 2F多目的室
※7月15日までにやってくる問題も出ますので、必ず参加してください。

Comments (Close) 0 TrackBack (Close) 0

第1回 教師力パワーアップセミナーの締切延長!

Posted by 岩崎達也 2011年7月21日 12:30

2年生までの皆さんへ
現在、岩崎カバーナップセミナーへの申込者は50名程度です。今年は特に2年生の参加が多いようです。そこで、まだ申し込みをしていない学生、迷っているという方、ぜひお問い合わせください。
今後の会議は(2月4日)までの申請を受付ます。FD戦略センターで受け付けています。
教員採用試験の第一歩です。萬が一落れないようよろしくお願いします!!

Comments (Close) 0 TrackBack (Close) 0

【2年生へ】教育情報の入力について(必須)

Posted by 岩崎達也 2011年7月21日 11:30 FD戦略センターから

現在の教職活動、運営希望についてお答えください。
皆さんは、就労、入力までの手順等は下記の通りです。必ず期間内に入力を行ってください。

2
回答方法: Web入力

入力期間: 1月30日(月)~2月6日(水)

入力手順: 1. 「教師力育成総合支援システム」に入るためのID(未登録の場合は、新規登録)とパスワードは、若林先生がイニシス跡に記載されたものです。
2. メインメニューの「学部運営評議会」をクリックする

卒業生の声

4年間を終えて…

美術教育専攻 阿部 好恵

私は地元が九州でしたので、島根大学で過ごした4年間は新鮮なことばかりでした。晴れても雨が降っても雪が溶けないことには驚きました。また、一人で県外に出たので心細いかと思いまや愉快な仲間や素敵な先生方に出会い、とても楽しく過ごすことができました。



教育学部に入学してよかったですと思うところは、体験活動が充実していることです。大学がボランティア活動等を紹介しているので参加しやすく、悩んだり困ったりすることがあれば指導の先生に相談できます。私は、小学校のクラブ活動から町おこしのお手伝いまで多様な体験をしました。知識だけでは決して学ぶことのできない実践力につながっていると思っています。ぜひ積極的に参加してみてください。

4回生になると、卒業研究や就職活動で忙しくなりました。就職に関しては、私は以前から教師を目指していたので、迷わず教員採用試験を受けました。センター試験とは違い、全て自分で情報を集め、試験勉強に取り組むのでとても大変でした。一人では挫けそうでしたが、同じく教員を目指す仲間を見つけ共に励み、教育学部の先生方や家族が支え導いてくれたため、やりきることができました。

就職支援室には多くの資料が揃っており、相談にも乗ってくれます。私が悩んでいるときは励ましてくださるなど、支援室の先生には本当に世話をになりました。また、教師力パワーアップセミナーの実施や多くの先生方が学習会を開いてくださっていましたため、それに参加することで密度の濃い学習をすることができました。そのように取り組んでいた結果、京都府の小学校教員採用試験に受かることができました。これもひとえに、支えてくださった方々のおかげだと感謝しています。

私は4月から教員として働きます。この先生が担任でよかったですと思ってもらえるような教師を目指して頑張っていきたいと思います。

夢が現実へと近づく大学生活

数理基礎教育 山蔭 智香



平成19年4月に入学してから早くも4年が経ち、あっという間に卒業の年を迎えました。入学した頃は、ただ教師になりたいという漠然とした夢にしかなかった事が1年1年現実へと近づいていきました。そして、昨年の教員採用試験に受かり、今年の4月からは島根県の中学校で、数学の教員として働くことが決まりました。

教育学部に入り、専門の知識はもちろんですが、その他たくさんのこと学ばせていただきました。体験活動で地域の方や子どもとの交流の場など、たくさんの体験の場を提供していただきました。今振り返ってみると、教育学部でなければここまでたくさんのことには経験できていなかつたと思います。また、同じ目標を持った友達は私にとって大きな存在でした。教育実習や採用試験など、体力的にも精神的にも苦しい時には友達と励まし、刺激し合いながら乗り越えてきました。ここまで頑張ってこられたのは、そのような友達が近くにいたからではないかと実感しています。本当に感謝しています。

これから実習や教員採用試験を含めた就職活動を控えた後輩のみなさんへ、あえて何かアドバイスをするとすれば、「大学生活の中で、何か一つでも自信を持って頑張ったと人に言えることを作る」ということです。それが勉強である人もいれば、体験活動、サークル活動である人もいるかもしれません。それから得た経験がいざという時に自分の自信となってくるのではないかと思います。私は決して勉強ができた訳ではありませんでしたが、頑張ったと言えることはありました。面接試験の際には、とても役に立ったと思います。ぜひ、みなさんにも見つけてもらいたいと思います。

春からは社会人となり、教員として働きます。正直今は不安の方が大きいかもしれません。しかし、これまで学んできたことや経験してきた事を糧に、日々努力し続けたいと思います。また、いつまでも学ぶ姿勢を忘れずに頑張っていきたいです。

～難関へ、真意を貫け～

初等教育開発専攻 松本 裕成

「“学生”という立場は本当に今しか使えないものです。1人の時間を大事に、何のため使うのかを考えて学生生活を過ごしてください。」入学したての頃、大学のある先生のお話の中から出てきたこの言葉が、ずっと私の頭の中に残っています。



私は4年間、ある保育園での学童保育ボランティアに時間を費やしてきました。小学校教員を目指すのはなぜか—、私はそのヒントをこの活動で教わったように思います。学校でない場所で子どもと接したり、先生ではない方々が子どもと関わろうとする思いを知ったりすることで、自身の考えの根本を何度も見直すことができました。社会人ばかりの場に“学生”という立場で乗り込んでいく、そのために1000時間体験活動、サークル活動、実習等、選択肢は十分に用意されています。あとは自分が動けるかどうかです。

後輩のみなさん、ぜひ「1人の時間」を有効に使ってください。大学には、授業の間や、下宿に帰ったあと、深夜など自由に使える時間がたくさんあります。何も、真面目に勉強やボランティアに費やせ、とは言いません。私もアルバイトをしたり、サークル活動をしたり、友人と遊びに出かけるのが最高に楽しかったですから。ただ忘れてほしくないのは「何のために使うのか」ということです。できるかもしれない、面白そうだなあ、と思うことから逃げないでください。やらない理由を考えるのではなく、やりたい思いを深めることの方が難しいのです。

私は昨年の7月に鳥取県の小学校の教員採用試験を受け、合格することができました。来年度は小学校の先生としてゼロから学んでいく姿勢を忘れずに精進したいと思っています。不安もありますが、先に紹介した学童保育ボランティアをはじめとした「1人の時間」が、私に大きな自信を与えてくれています。動かなければ変えられないし、自分が変わっていくこともできません。このことを胸に、4月から社会人として現場に臨みたいと考えています。

出会いに期待

健康・スポーツ教育専攻 泉田 拓哉



教員になるため自分から望んで教育学部に入ったにも関わらず、入学時当初の私の考えは「単位が取れて無難に卒業できればいい」というものでした。そんな楽観的な考えを持っていたせいか1年生のころは何の目的もなく、面倒だと思うことは受け流して、ただ今を楽しむだけの生活を送っていました。

そんな大学生活のスタートを切った私も、この春からは神戸市の小学校教員として教壇に立ちます。

こうやって1つの目標を達成できたきっかけは2年生の時に受けた専門の授業だと考えています。「目から鱗」とはこのことで、この授業を通して学校における授業づくりの面白さ、難しさを垣間見、さらには自分の好きな分野を勉強していくことの楽しさに気付くことができました。この授業との出会いを皮切りに、普段の授業はもちろんのこと1000時間体験活動といった島根大学教育学部が実施しているカリキュラムに自ら積極的に取り組むようになり、3年生の時に行われる教育実習も大変実りのある実習にすることことができました。

島根大学教育学部には必ず良い出会いが待っています。それは私のように専門の授業との出会いかもしれないし、全然興味のない分野の授業、もしくは素晴らしい先生との出会いかもしれません。もちろん、自分自身を高め目標を達成していくためには、時に自分の足で一步ずつ進んで行く必要があると思いますが、大学生活に期待を持って臨めば自分を変えるきっかけを与えてくれる出会いがあることを確信しています。

後援会活動の概要

(平成22年度)

1 学生教育活動の支援

- ①1,000時間体験学修、面接道場、学生フォーラム、教師力パワーアップセミナー、ビットひろばなど学生教育活動事業経費への助成
- ②ICTルームの書籍整備への助成

2 教育実習の支援

- ①教育実習を充実させるため、各実習受入校の実習経費への助成(学生が実習で使用する文房具や教材等への助成)
- ②教育実習ワークシート作成への助成

3 就職活動の支援

- ①教員志望学生の援助
教員採用試験に向けての対策と指導に関する経費及び各都道府県教育委員会への採用依頼に関する経費への助成
- ②企業志望学生の支援
就職ガイダンスを開催し、企業就職関連の各種セミナー等を行なう経費及び就職担当教員等を中心に、県内外へ出向いての企業就職開拓活動経費への助成
- ③就職支援室の書籍整備などへの助成

4 国際交流活動の支援

釜山教育大学校(韓国)との交流20周年記念事業等への助成、テキサス大学、ミシガン大学学生との交流活動への助成、日韓学術交流セミナー実施への助成

5 教育環境整備の支援

構内の教育環境の改善を図り、学生の生活環境の向上及び充実のための施設整備経費への助成(トイレ内整備、玄関の花壇整備など)

6 広報事業の実施

後援会事業活動報告及び学部の教育・研究活動並びに学生生活の様子等をお知らせするための後援会「機関誌」を発行

7 課外活動の支援

在学中における各種部活動、大学祭、寮祭、中四国大学学生競技大会参加等の活動費への助成

8 その他

- ①インフルエンザ感染予防のための消毒液、マスクの購入助成
- ②防犯ブザーの購入、貸出し

平成22年度

教育学部後援会幹事名簿

地区	氏名	課程	学生氏名	備考
簸川郡	曾田 悟	院 2	曾田茉莉香	会長
松江市	小村 陽悦	院 2	小村さやか	
松江市	飯塚 節子	学校教育 4	飯塚 洋平	
出雲市	稻田 隆嗣	学校教育 4	稻田 隆志	
米子市	河田 健志	学校教育 4	河田紗絵香	
隱岐郡	木村 一則	学校教育 4	木村 佳則	
出雲市	角 美幸	学校教育 4	角 真理子	副会長
松江市	長谷川芳人	学校教育 4	長谷川 圭	監事
境港市	安達 義昭	学校教育 3	安達 宏樹	
松江市	古川 康徳	学校教育 3	古川 花乃	会計幹事
出雲市	持田 剛	学校教育 3	持田 諒子	副会長

地区	氏名	課程	学生氏名	備考
米子市	大場 明夫	学校教育 2	大場 智子	
松江市	奥村 忠孝	学校教育 2	奥村 裕孝	監事
雲南市	景山 博司	学校教育 2	景山 雄平	
大田市	吉田 芳英	学校教育 2	吉田 彩乃	
米子市	山中 茂樹	学校教育 1	山中 詩織	
米子市	村上 忠祐	学校教育 1	村上 祐太	
松江市	瀬尾 欣也	学校教育 1	瀬尾 勇樹	
松江市	杉原 英明	学校教育 1	杉原杏由美	
雲南市	熱田 正規	学校教育 1	熱田 千帆	
斐川町	勝部 宏悦	学校教育 1	勝部さおり	

(21名／順不同)

E-mail kyo-soumu@jn.shimane-u.ac.jp

教育学部後援会URL <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/edu/koenkai.html>

○発 行 島根大学教育学部後援会 ○発行日 平成23年3月31日 ○発行所 島根大学教育学部内 教育学部後援会事務局

○所在地 〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL(0852-32-6251) FAX(0852-32-6259) ○印刷 ぷりんとはうすM2エムツー